

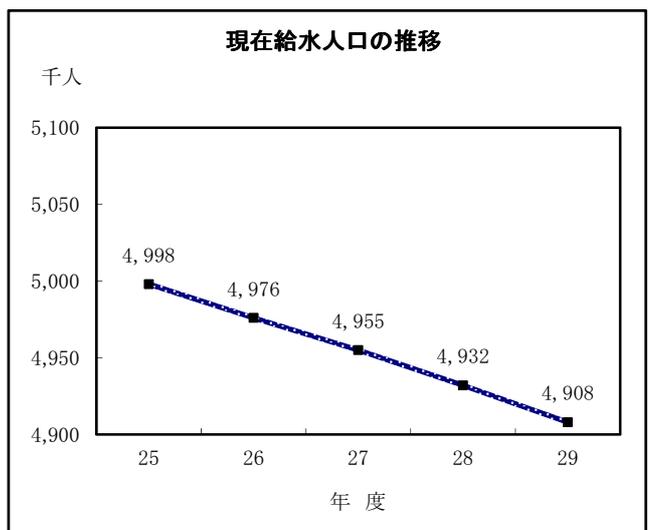
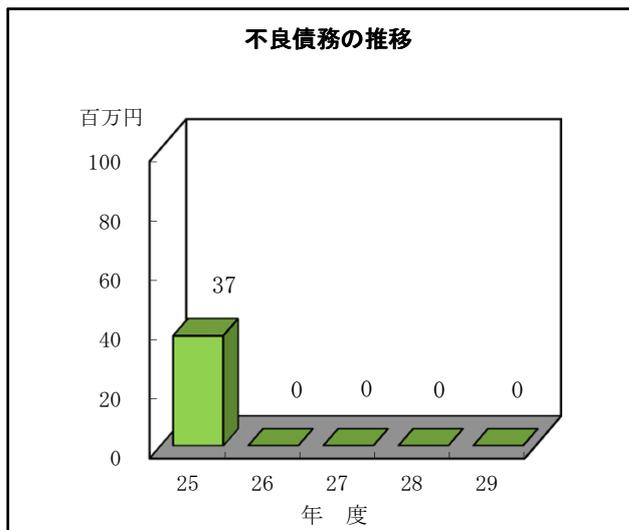
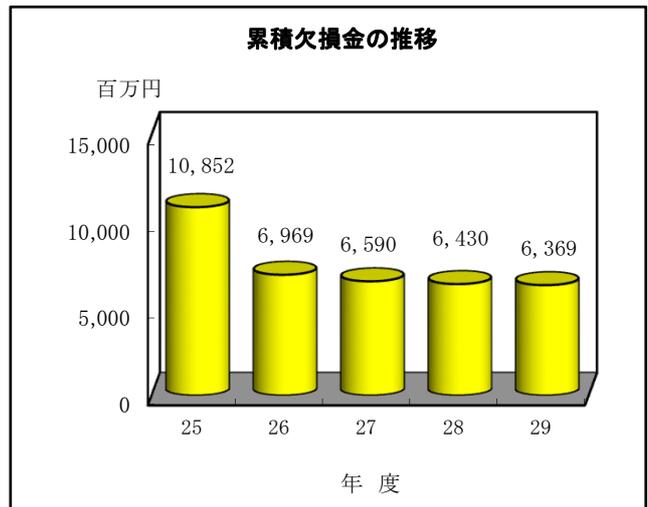
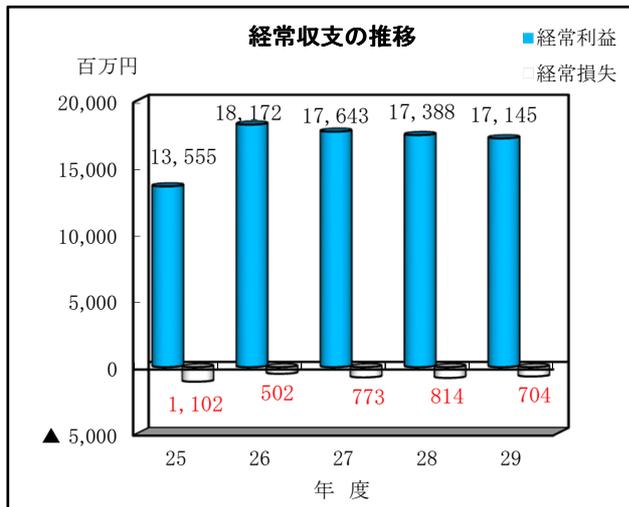
# 北海道内の水道事業会計における平成29年度決算状況

## (1) 上水道事業 (96事業)

- 経常収支の黒字事業は、前年度から7事業増の82事業であり、経常利益は、前年度に比べ2億43百万円減少し、171億45百万円となっている。  
赤字事業は、前年度から8事業減の14事業であり、経常損失は、前年度に比べ1億10百万円減少し、7億4百万円となっている。  
全事業を合計した経常収支は、164億41百万円の黒字となっている。
- 累積欠損金は、前年度に比べ61百万円減少し、63億69百万円となっている。(14事業該当)

### 《業務の概況》

上水道事業とは、給水人口5,001人以上の水道により水を供給する事業である。  
全事業の配水能力は、1日2,536千 $m^3$ 、導・送・配水管の総延長は36,498kmとなっている。  
また、現在給水人口は490万8千人となっており、前年度に比べ2万4千人減少し、行政区域内人口に対する普及率は、97.5%に達している。



## (2) 簡易水道事業 (110事業)

- 経常収支の黒字事業は、前年度から2事業増の97事業であり、経常利益は、前年度に比べ1億13百万円増加し、21億81百万円となっている。  
赤字事業は、前年度から2事業減の13事業であり、経常損失は、前年度に比べ34百万円減少し、53百万円となっている。  
全事業を合計した経常収支は、21億28百万円の黒字となっている。
- 累積欠損金は、前年度に比べ3億23百万円減少し、3億33百万円となっている。(3事業該当)

### 《業務の概況》

簡易水道事業とは、給水人口5千人以下の水道により水を供給する事業である。  
全事業の配水能力は1日269千 $m^3$ 、導・送・配水管の総延長は12,392kmとなっている。  
また、現在給水人口は28万3千人となっており、前年度に比べ4千人減少している。

